

当面のスローガン

- 本年こそ「人権侵害救済法」を制定させよう!
- 狭山再審闘争の勝利をかちとろう!
- 続発する差別事件の糾弾を徹底しよう!



発行所
解放新聞和歌山支局

〒640-8314
和歌山市神前 405-3
TEL 073-473-2301
FAX 073-473-2302

発行責任者
藤本哲史

狭山差別裁判闘争の闘争強化と 実効性ある「推進法」を 第75回全国大会

3月3日から4日にかけて、東京の「ニッショーホール（日本消防会館）」で部落解放同盟第75回全国大会がひらかれ、和歌山から40人を超える代議員が参加した。

開会行事では、組坂繁之・中央執行委員長から「戦争は最大の人権侵害」という世界の共通認識のなか、安倍政権における「戦争のできる国づくり」がすすめられようとしていることへの抗議行動の強化、「部落

差別解消推進法」が実効性のあるものとなるためとりくみ強化、狭山差別裁判闘争における新証拠をもとにした再審開始のとりくみ強化、インターネットなどによる差別事件の氾濫などへの具体的なとりくみが示された。

また、来賓には二階俊博・自民党幹事長(県選出)、枝野幸男・立憲民主党代表、江田康幸・公明党同和対策等問題委員会委員長、大塚耕平・民進党代表、大島敦・希望の党代表、片山大介・日本維新の

会、又市征治・社民党首らはじめ、共闘会議や実行委員会、同企連、同宗連から出席があり、差別をなくすとりくみをすすめることを誓いあった。

昨年の活動報告と決算報告(監査報告)があり、活動方針(案)では、差別を禁止する法制度の制定、狭山差別裁判糾弾闘争における一日も早い再審開始、鳥取ループなどにみられるインターネット上における差別扇動へのとりくみ強化など、諸課題解決のためのとりくみをすすめるための組織強化が提案された。

2日目の全体会では、各分散会で議論された内容の報告、意見発表のあと、各提案事項の採択、新役員の発表と代表のあいさつ、大会宣言の提案と採択につき、閉会あいさつと「団結ガンパロー」で2日間の大会を終了した。

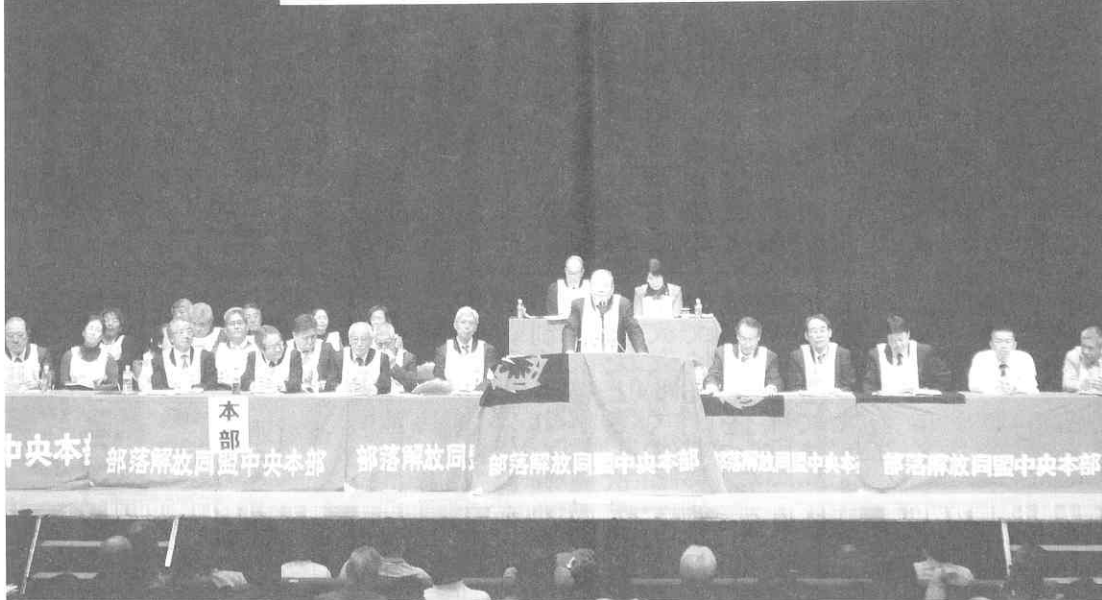


再審開始を訴える石川夫婦のスピーチ

全体会につづき、3会場にわかれた分散会での議論がすすめられた。とくに、国の動向をみているのではなく、各地方行政において「部落差別解消推進法」の具体化に向けた条例などの制定が必要。部落差別をなくすことや部落差別をうけた人への相談活動など、隣保館の果たす役割が要求されるといった意見がだされた。分散会終了後、第75期・76期の中央役員の内任投票がおこなわれ、1日目の日程が終了した。

部落解放同盟第75回全国大会

2018年3月3日～4日・日本消防会館
憲法改悪を許さず、差別排外主義と対決し、人権・平和と民主主義の確立をめざして、部落解放運動の大道を切り拓こう



「部落差別解消推進法」の実効性あるとりくみ強化を訴える組坂中央執行委員長(3月3日・東京)

● 第75・76期中央役員一覧 ●

第75回全国大会(3月3、4日・東京)で決まった第75・76期中央役員を紹介する。(選管発表順)

役職名	名前
中央執行委員長	組坂 繁之(福岡)
中央執行副委員長	北口 末廣(大阪)
	松本 龍(福岡)
	片岡 明幸(埼玉)
	坂本 三郎(兵庫)
中央書記長	西島 藤彦(京都)
中央財務委員長	赤井 隆史(大阪)
中央執行委員	安田 茂樹(京都)
	村井 康利(大阪)
	高橋 定(大阪)
	池田 清郎(和歌山)
	山崎 鈴子(愛知)
	原 伸一(福岡)
	吉岡 正博(福岡)
	政平 智春(広島)
	大西 聡(東京)
	伊藤 満(奈良)
	松谷 操(奈良)
	和田 献一(栃木)
	田村 慎吾(兵庫)
	植村 あけみ(兵庫)
	齒朶山加代(徳島)
中央組織規律委員会委員長	西藤千代子(長野)
中央組織規律委員会副委員長	飯田 敬文(和歌山)
	中川 貢(高知)

頑健

3月「弥生」、もう春です。古くから自然の移り変わりや行事で季節の変化を感じてきた。もちろん「わが家の歳時記」など、全体的なものとは別に個々の季節の感じ方も有である。とにかく、早春の草木が一面に花を咲かせるってことだ。▼話がかわるが、法案の一部を切り離したが、政府は今「働き方改革」関連法案の成立に躍起だ。「今、経済は絶好調だ」という人たちが「これで長時間労働も解消され、同一労働同一賃金も実現する」と吹聴する。しかし、劣悪な条件下にある非正規雇用が労働人口の半数に迫るといふ状況、実質賃金が年々低下し、反対に家計負担が増加し、長時間残業を余儀なくされている現実…。そして、あんなに言っていたアベノミクスもどこへやら、大企業が「いざという時の用意だ」と内部留保をため込む。考えれば、その彼らの求める「使い勝手の良い労働力の確保」がその真相ではないだろうか。▼そういうえば、選挙公約の「教育の無償化」「待機児童ゼロ」は、半年たつて、霧の彼方にみえなくなつてしまった。今、世界的に「仮想通貨」という得体のしれないモノが流行しているが、「仮想通貨」って言葉もできるかも。▼「花冷え」という言葉がある。これは、4月上旬の一時的な気候現象だが、その後に、暖かい季節が約束されないとしたどうなんだろうね。